

銅 賞

題名無し

中村 虹心

八女市立 福島小学校

わたしは、「矢部川浄化センター」に行つてわかつたことがたくさんあります。

さいしょに水がよければ、下水道を通つて、浄化センターで水をきれいにしたりして川や海などの自然やわたしたちの町を過ごしやすくしてくれているということがわかりました。

次に下水処理の仕組みやしせつの働きについて聞きました。さいしょにちんでん池、反のうタンク、最終ちんでん池をとれば水がだんだんときれいになってくるそうです。それに反のうタンクにはび生物がいて、汚れを食べて水をきれいにしてくれるそうです。

しせつには中央監視室というところがあり色んな機械を見たり、遠かくで動かしたりしています。水がどれくらいきれいになっているかを水質試験室でめだかなどを使って検査します。

発生したよごれはひ料やセメントの材料として再利用されてわたしたちの町に役立っています。

そしてわたしは川や海の大切さも知りました。水がないと水でくらしている生物やわたしたちも安心して生活できないので、川や海のきれいをたもつには、下水処理しせつや、水のじゅんかんの一つの下水道もなくてはならないそんざいだと感じました。それにわたしは、みんなの川や海を大切にしようという気持ちやかつてにゴミなどをすてたりしないようにすることが大事だと思いました。

このことからわたしは学んで、自分たちにもできることを考えました。たとえば、食べのこしをはい水口に流したりせずつちやんと食べた、水を出しっぱなしにしないかかくにんしたり、油を流したりしないことです。油はび生物が大の苦手なもので一番気をつけたいと思っています。

これから水の大切さを伝えたり、自分にできることをやっていきます。